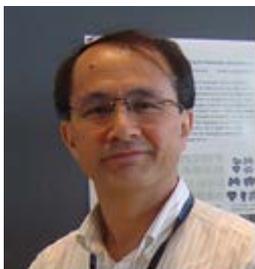
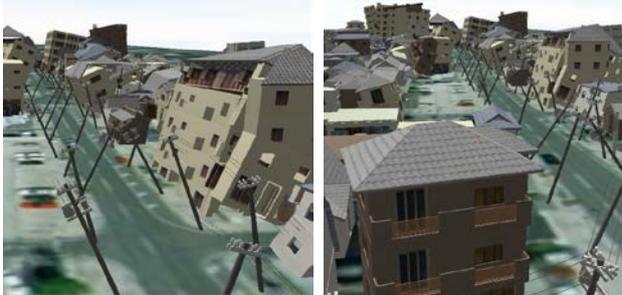


整理番号	HT27187	分野	工学 (キーワード) 自然災害科学3次元CG、自動生成
------	---------	----	-----------------------------

## 岐阜経済大学

自分たちの街に起こりうる大災害を3次元コンピューターグラフィックスでシミュレーションしてみよう

先生(代表者)	杉原健一(すぎはらけんいち) 経営学部情報メディア学科・教授				
自己紹介	大手電機メーカーのマイコンの技術者として、勤めた後、教員に転向。GIS(地理情報システム)とCGを統合化して、「遺跡の復元」や「防災まちづくり」に役立つ「3次元都市モデル」を自動的に作るシステムの開発に取り組み、それに成功しました。大手コンサルタント企業2社と特許契約を結び、「商品化」されました。ハリウッド映画のCG制作者が発表する、CGのオリンピックといわれるSiggraph(シーグラフ)にも、4回発表しました。				
開催日時・主な募集対象	平成27年10月10日(土)	(対象)	中学生・高校生	(人数)	30名
集合場所・時間	岐阜経済大学 9号館 スタジオ実習室		(集合時間)	午前9時半	
開催会場(集合場所)	岐阜経済大学 9号館 住所: 〒503-8550 岐阜県大垣市北方町5-50 アクセスマップ: <a href="http://www.gifu-keizai.ac.jp/about/location.html">http://www.gifu-keizai.ac.jp/about/location.html</a>				
<b>内 容</b>					
映画やゲームの3DCG(3次元コンピューターグラフィックス)を、ただそれで遊ぶだけでなく、自分で作ってみませんか。自分達の街が地震などの災害に襲われたらどうなるか、想像してみませんか。建物や電信柱が傾き、火の手や津波、土石流が迫る。3DCGでそれを作ってみましょう。「自動生成システム」が、手のかかる建物などの制作作業を自動的に行います。最先端の「3DCGソフト」と「自動生成システム」はすごいです。					
<b>スケジュール</b>				<b>持ち物</b>	
9:30~10:00	受付(岐阜経済大学 9号館)			筆記用具とあれば、USBメモリ。作った3DCGの作品を持って帰って下さい。	
10:00~10:30	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)				
10:30~12:00	<b>【講義】</b> ①「3次元CGの基礎と3ds Maxの基本操作の習得」(講師:杉原健一) ②「地震のメカニズムに焦点を絞った地学」(講師:菅井径世) ③「防災まちづくりー金沢市における取り組みー」(講師:沈振江)			<b>特記事項</b>	
12:00~13:00	昼休み(昼食)、研究者などとの交流			皆さんと年齢の近いTA(ティーチング・アシスタント)の人が、近くにいる、分からないときはやさしく教えます。	

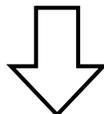
13:00～15:30	【実習】(講師:杉原 健一) ①「プログラム」によって建物や電信柱等の3Dモデルを自動生成する実習 ②「迫りくる火の手」から避難する人々のアニメーションの制作実習
15:45～16:00	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)
16:00	終了・解散

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	〈総務課〉安田 天、梅原 慶子
住 所：	岐阜県大垣市北方町5-50
TEL 番号：	0584-77-3505
FAX 番号：	0584-81-7807
E-mail：	soumu@gifu-keizai.ac.jp
申込締切日：	平成 27 年 9 月 30 日(水)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
杉原健一	2007年度～ 2009年度	基盤研究(C)	19560542	3次元都市モデルを活用する防災まちづくり支援システムの開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。